



「ハイ！ハイ！ハイ！」。かけ声合わせて、めざせ、宮城県1位

真山小学校では、毎週水曜日の業間時間に、全校で集まって運動をして

全校で運動

ウェブ縄跳び記録に挑戦

校庭の時には鉄棒や一輪車、竹馬など、体育館の時には長縄や短縄を使って縄跳びなど、縦割り班に分かれて活動しています。班対抗で、長縄跳び対決をすることもあります。上学年が下学年に、縄跳びや竹馬のこつを優しく丁寧に教えているので、自然と技も上達していきます。



編集委員 狩野隼汰、大内響、狩野那月、佐藤凜音、磯田臣統、高橋心人、大場匠(6年) 指導教諭 伊藤ふみ

真山小

学校名 大崎市立真山小学校
所在地 大崎市岩出山上真山日向要害2
電話 0229(77)2301
校長 神田 裕樹
児童 48人



地域行事で披露

真山小には、先輩から受け継がれている真山音頭と真山太鼓があります。真山音頭は全校で踊り、真山太鼓は5、6年が演奏します。入学式や6年生を送る会などいろいろな行事で披露します。また、政宗公まつりや敬老会など地域の行事でも演奏してきました。閉校しても、大切な思い出として、私たちの心の中に刻んでいきます。



次回は 上野山小(仙台市) 白川小(白石市)

坂元小

学校名 山元町立坂元小学校
所在地 山元町坂元館下159の1
電話 0223(38)0305
校長 渡辺美由紀
児童 99人



神楽を受け継ぐ

坂元小では4年生になると、「坂元子ども神楽」を学びます。東日本大震災後、坂元小と中浜小学校が統合する際、「両校にある神楽を残したい」という思いが一つになったものです。毎年、神楽保存会の方々から指導いただきながら、地域の大切な伝統はもちろんのこと、ふるさとを大切にしたい気持ちもしっかり受け継いでいます。



たてわり班ごとに学生が付き、一人一人に用意されたペットボトル鉢にコナラの種を植えました

「たねぷろ」

海岸林再生へ苗を育てる

東日本大震災の津波に再生しようと、2013年より失われた海岸林を再生しようと、2013年から長野大学の学生のみなさんと力を合わせて「たねぷろじえくと」として「たねぷろ」という活動に取り組んでいます。(通称「たねぷろ」) たねぷろは海岸林に広葉樹を育てる活動です。年に3、4回、坂元小学校の希望者が自由に参加して活動してきました。しかし、卒業や震災の風化によって、参加者は年々減るとともに、たねぷろの目的も少しずつ忘れられてきました。学校の集会などの時に、参加の呼びかけもしましたが、このままの形で続けていくことは難しくなっていました。



編集委員 星涼介、佐藤和音、岩佐凜子、岩佐世葉(6年) 指導教諭 赤坂活志、横田千賀子

その記念すべき1回目の活動として昨年11月9日、長野大の協力のもと、たてわり班ごとにコナラの種を植えました。自分たちのふるさとを自分たちの手で守り、これからも復興に向かって進んでいきたいです。の苗を育てていければ、海岸林も早く再生できると思います。